

審議会会議録

1 会議の名称	令和3年度第1回富津市子ども・子育て会議
2 開催日時	令和3年6月18日（金） 午後1時30分～午後3時37分
3 開催場所	富津市役所本庁舎5階 502・503・504会議室
4 審議等事項	議題 (1) 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の 令和2年度実施報告について (2) 令和3年度からの取組について (3) 青堀保育園について（報告） (4) 公立保育所の再配置について (5) 令和3年度会議スケジュールについて (6) その他
5 出席者名	○出席委員 真下めぐみ、安藤鮎香、菊地洋子、黒木淳一、 宮原俊一、有馬佐知子、飯田裕美、今井常夫、 都倉康宏、古川哲也、諸岡賛陞、保坂典江 ○事務局 坂本健康福祉部長、中山子育て支援課長、鈴木子育 て支援課長補佐、水島子育て支援係長、荒木主任主 事、山口健康づくり課主査、川島学校教育課指導主 事
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人数	1人（定員5人）
9 所管課	健康福祉部子育て支援課子育て支援係 電話 0439-80-1256
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

上記会議の経過を記載し、事実と相違ないことを証するためにここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員

令和3年度第1回富津市子ども・子育て会議 会議録

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>本日、会議の進行を務めさせていただきます、子育て支援課子育て支援係の荒木と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議を始める前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>○会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画令和2年度実績 ・資料2 青堀保育園民間移管に至る経緯 ・資料3 青堀保育園の今後の予定 ・資料4 公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ ・公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙 ・公立保育所再配置計画たたき台に係るグループ討議の進め方について ・討議グループ分け表 <p>机上配付：次第、委員名簿、席次表、資料1(追加資料)、資料4(追加資料)、資料5 令和3年度富津市子ども・子育て会議スケジュール(予定)、公立保育所再配置計画たたき台に対する意見書用紙(追加配付)、富津市子育て応援ガイドブック2021年版、すくすくギフトリーフレット</p> <p>その他：富津市公立保育所再配置計画たたき台 (令和2年度第3回会議 資料1) 第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画書</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (荒木主任主事)</p> <p>事務局 (中山課長)</p>	<p>○会議の成立</p> <p>ここで、本日の委員の出席状況をご報告いたします。</p> <p>15名の委員のうち、委員名簿2番の村治委員、6番の岩濱委員、10番の平野委員の3名におかれましては、本日欠席でございます。</p> <p>12名の方が出席され、過半数を超えておりますので、富津市子ども・子育て会議設置条例第6条第2項の規定により、会議は成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>○会議の公開</p> <p>この会議は、富津市情報公開条例第23条の規定により、会議を公開することとなっております。なお、本日の傍聴人は1名でございます。</p> <p>会議録作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p><次第1 開会></p> <p>ただいまから、令和3年度第1回富津市子ども・子育て会議を開会いたします。</p> <p>本日は、新年度となって初めての会議でございますので、新任委員及び職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>それでは今年度から新たに委員となられた方がお二人おられますので紹介をさせていただきます。本日お配りした委員名簿をご覧ください。</p> <p>お名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でご起立いただき、一言頂戴したいと存じます。</p> <p>(黒木委員・保坂委員の紹介)</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、今年度の事務局職員を紹介させていただきます。</p> <p>(事務局職員の紹介)</p> <p>議事に入る前に、諸岡会長からご挨拶を頂戴したいと存じます。諸岡会長、お願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第2 会長挨拶></p> <p>皆さんこんにちは。会長の諸岡です。今年度第1回目というのですが、保育所の再配置については引き続き議案となっております。グループ討議において活発な議論をしていただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>ありがとうございました。会長には引き続き、議事の進行をお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第3 会議録署名人の指名></p> <p>それでは、次第に沿いまして、議事を進めさせていただきます。</p> <p>まず、本日の会議録署名委員を指名したいと思います。私のほかに、慣例により委員の中からお一人にお願いしております。本日は、有馬委員にお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第4 議題></p> <p>それでは、次第4の議題に入ります。</p> <p>議題(1)「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実施報告について」を議題といたします。事務局</p>

発言者	発言内容
事務局：水島係長	<p>の説明を求めます。</p> <p>(資料1「第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画令和2年度実績」及び「追加資料」を使用)</p> <p>大変申し訳ございませんが、始めに資料1の修正をお願いいたします。</p> <p>6ページ(11)放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の富津地区、大佐和地区の実績値の欄の修正をお願いします。富津地区の実績値欄の施設数4か所を3か所に、大佐和地区の施設数3か所を4か所に修正をお願いいたします。</p> <p>それでは、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度の実績について、ご報告させていただきます。</p> <p>本日机上に配付させていただきました資料1(追加資料)ですが、事前に郵送で送付させていただいた資料1の上に重ねていただきご覧いただければと思います。</p> <p>本日お配りした資料1(追加資料)、計画書の冊子38ページから39ページをご覧ください。</p> <p>この表は、安定した幼児期の教育・保育を提供するために、富津・大佐和地区、天羽地区の2つの地区ごとに定めた「量の見込」、「確保方策」に対する令和2年度の実績を表したものです。</p> <p>1号認定は、満3歳以上で幼稚園や認定こども園の幼稚園部分を利用した場合、2号認定は、満3歳以上で保育所(園)や認定こども園の保育園部分を利用した場合、3号認定は、満3歳未満で保育所(園)や認定こども園の保育園部分を利用した場合が該当します。</p> <p>表中の「量の見込み①」は、どのくらいニーズがあるのかを、「確保方策②」は、どのくらいサービスを提供するのか</p>

発言者	発言内容
	<p>を、「実績値③」は、令和2年度の利用実績を表しています。</p> <p>確保方策②が「実績値」③を上回っていれば令和2年度のサービスに対するニーズは満たされていることとなります。</p> <p>各地区の表の下から2行目③-②をご覧ください。</p> <p>両地区の1号認定から3号認定までの全ての認定区分において、確保方策が実績値を上回っており、ニーズは充足されておりました。</p> <p>市全体として、特に満3歳以上の児童の1号認定及び2号認定において、確保方策が実績値を大きく上回っていることから、供給過多の傾向となっています。</p> <p>続いて、事前に郵送した資料1をご覧ください。</p> <p>ここからは、子ども・子育て支援法により、市町村が地域の実情に応じ実施することが求められている「地域子ども・子育て支援事業」に関する各事業の量の見込、確保方策と実績を比較したものです。主な事業についてご報告させていただきます。</p> <p>資料1の1ページ、計画書の41ページをご覧ください。</p> <p>(1) 利用者支援事業は、身近な施設で教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供や相談・助言を行うとともに、関係機関との連携を行う事業です。</p> <p>令和2年度は、地域交流支援センター「カナリエ」で事業を実施し、ケースに応じて専門機関へつなぐなどの支援を行いました。</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業は、未就園の子どもとその保護者を対象に、情報交換や交流、仲間づくりができる場所を提供する事業です。</p> <p>計画では、富津・大佐和地区において、2か所確保することとしておりましたが、休止となった施設があり、和光保育園で実施している「もうひとつのお家」1か所の提供となっ</p>

発言者	発言内容
	<p>ております。</p> <p>また、天羽地区は、令和2年4月にオープンした地域交流支援センター「カナリエ」の利用によるもので、年間を通じて一定の利用があり、子育て支援センターとして定着しつつあります。</p> <p>資料1の3ページ、計画書の43ページをご覧ください。</p> <p>(6) 子育て短期支援事業は、保護者の就労や疾病等により子どもを一時的に養育できない場合に、児童養護施設等で預かりを行う事業です。</p> <p>令和2年度の実施はありませんでしたが、令和4年度までに委託施設を確保できるよう検討してまいります。</p> <p>資料1の5ページ、計画書の45ページをご覧ください。</p> <p>(10) 病後児保育事業は、病気やケガの回復期にあつて、集団保育が困難な子どもを看護師が専用スペースで一時的に預かる事業です。</p> <p>令和元年度までは、富津地区のみでの事業実施のため、サービス提供区域に偏りがありましたが、令和2年4月から地域交流支援センター「カナリエ」内に病後児保育室を開設し、大佐和地区及び天羽地区の方々にも利用しやすい環境を整備したところです。</p> <p>資料1の6ページ、計画書の46ページをご覧ください。</p> <p>(11) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）は、市内全域で概ね確保方策が実績値を上回っており、ニーズは充足しています。</p> <p>令和2年12月に大佐和地区に新たなクラブが開設され、学校からクラブまでの送迎を行い、大佐和地区以外の児童の利用も受け入れることで、ニーズに応えることができています。</p> <p>また、富津小学校区にはクラブが未設置となっておりますが、富津小学校の空き教室を活用して、令和3年4月から</p>

発言者	発言内容
	<p>富津保育園によるクラブが開設され、全ての小学校区にクラブが設置されました。</p> <p>8ページ、計画書の54ページをご覧ください。</p> <p>ここからは、「子ども・子育ての施策」として、子どもの成長に応じ4段階に分類し、各時期の目標を達成するための施策と実績値を記載しております。</p> <p>先ほどから報告しております「教育・保育及び地域子ども・子育て支援業」と重複している事業が多く掲載されているため、重複していない事業の中から、第Ⅱ期の計画から新たに掲載した事業を中心にご報告いたします。</p> <p>8ページの下から2行目「子育て世代包括支援センター」をご覧ください。</p> <p>子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、利用者目線に立って、一貫性・整合性のある支援を行うものです。</p> <p>母子健康手帳の交付時に妊産婦等の実情を把握し、関係機関とも情報を共有しながら支援を行い、支援プランの作成を13件、精神的不安を抱えたケースへの対応を14件実施しました。</p> <p>次の行の「産後ケア事業」をご覧ください。</p> <p>産後ケア事業は、産後4か月までの母子を対象に、産科医療機関で、授乳指導や心身のケアを行うものです。</p> <p>令和2年度は、2名の利用がありました。引き続き、母子健康手帳交付時や新生児訪問時等にタイムリーに周知を図っていきます。</p> <p>12ページの下から3行目「放課後ルーム(放課後子供教室)」と計画書の50ページを併せてご覧ください。</p> <p>放課後ルームは、小学校や公民館等で放課後の児童の居場所を提供するとともに、送迎時等に保護者からの相談に応じ</p>

発言者	発言内容
	<p>るものです。令和2年度は、緊急事態宣言が解除になった6月末以降、富津小学校、環小学校、大貫小学校の3校で実施し、計42人の児童の登録がありました。今後は、地域の交流活動につながるよう放課後ルームの活動に保護者や地域の方々の参加を促していきます。</p> <p>次の行の「子どもの学習支援事業」をご覧ください。</p> <p>子どもの学習支援事業は、生活困窮世帯の小・中学生に対し、居場所を提供し、学習支援や進路相談等に応じるものです。</p> <p>令和2年度は、富津・大佐和地区で1か所、天羽地区で1か所実施し、小学生9人、中学生20人の登録がありました。</p> <p>その他の事業につきましては、恐れ入りますが資料をご覧ください。</p> <p>以上で、第Ⅱ期富津市子ども・子育て支援事業計画の令和2年度実施報告についての説明を終わります。</p>
諸岡会長	事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑はございませんか。
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>続いて、議題(2)「令和3年度からの取組について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(「富津市子育て応援ガイドブック2021年版」、「すくすくギフトリーフレット」を使用)</p>
事務局：水島係長	令和3年度からの新たな取組について、本日お手元にお配りした「富津市子育て応援ガイドブック2021年版」と「すく

発言者	発言内容
	<p>すくギフト」についてご説明いたします。</p> <p>富津市子育て応援ガイドブックは、昨年度の第2回会議で、株式会社サイネックスと官民協働事業で実施し、発行に向け協定を締結したことをご報告させていただきましたが、2021年版が完成し、発行しましたのでご報告させていただきます。</p> <p>2021年版では、男性の育児参加を推奨する観点から「イクメンっていいじゃないか！」と題し、新米パパの実体験をコラムとして掲載しております。</p> <p>保育所（園）や幼稚園、小学校、公民館等の公共施設で配布するほか、お子さんの健診や妊娠届提出時、出生や転入の手続きの際に配布いたします。</p> <p>続きまして、すくすくギフトについてご説明いたします。</p> <p>すくすくギフトは、保護者にこのカタログからお好きな育児用品を月額3,500円分選んでいただき、1歳の誕生日まで毎月自宅へお届けするものです。</p> <p>6月1日に白十字販売株式会社と業務委託を締結し、6月下旬から配送を開始する予定です。</p> <p>以上で、令和3年度からの取組についての説明を終わります。</p>
諸岡会長	<p>事務局の説明が終わりました。説明に対するご質問等はいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>続いて、議題（3）「青堀保育園について（報告）」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料2「青堀保育園民間移管に至る経緯」、資料3「青堀</p>

発言者	発言内容
<p>事務局 (鈴木課長補佐)</p>	<p>保育園の今後の予定」を使用)</p> <p>議題3 青堀保育園について（報告）についてご説明いたします。</p> <p>青堀保育園の経緯につきましては、今年3月の令和2年度第3回会議で、今後、高砂福祉会と返還に向けた協議と次期事業者の選考を検討していくこと等についてご説明したところでございます。</p> <p>その後、新たな運営法人選定委員会を設置し、5月13日に第1回の会議を開催したところでございます。</p> <p>本日は、お手元に資料2として選定委員会でお配りした資料を配付してございます。</p> <p>それでは、資料2「青堀保育園民間移管に至る経緯」をご覧ください。青堀保育園民間移管に至る経緯をまとめたものでございます。</p> <p>青堀保育園は、平成18年4月に富津市が社会福祉法人高砂福祉会に建物、施設、物品を無償譲渡、運営を移管し、現在に至っております。続いて、資料には市内保育施設の現状、保育所別児童数推移等を記載してございます。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>4. 青堀保育園の経緯でございますが、表に記載のとおり、平成16年7月に富津市公立保育所民間移管受託法人選考委員会を設置し、富津市立青堀保育所の民間移管について検討を重ね、並行して保護者・住民説明会、受諾法人の募集、見学会を経て、平成17年11月に移管先の候補者を社会福祉法人高砂福祉会に決定しました。平成18年1月から引継保育を行い、同年4月に青堀保育園が定員200人で開設されました。移管にあっては、建物、備品等は市が法人に無償で引渡し、土地は市が法人に無償で貸渡しています。その後、保育士の</p>

発言者	発言内容
	<p>確保が困難、児童数の減少を理由に利用定員を変更し、本年度から 90 人となっております。</p> <p>4 ページをご覧ください。</p> <p>次に、5. 青堀保育園の施設概要でございますが、所在地は、富津市青木二丁目 14 番地 6、イオンモール富津近くに所在し、利用定員は先ほど申しあげたとおり 90 人です。</p> <p>建物は、高砂福祉会が所有し、鉄筋コンクリート造スレートぶき 2 階建、床面積 1276.24 m²。附属建物の倉庫は、鉄筋コンクリート造陸屋根平家建 32.00 m²です。昭和 58 年 3 月に完成していますので 38 年が経過しています。</p> <p>土地は、富津市が所有し、令和 18 年 3 月 31 日まで 30 年間無償で貸し付けています。</p> <p>次に、6. 青堀保育園の保育についてでございますが、開所時間は平日が午前 7 時から午後 8 時まで、土曜が午前 7 時から午後 8 時まで、休日が午前 7 時から午後 6 時までとなっています。</p> <p>青堀保育園では、特別保育として、産後 8 週間の産休明けから保育を受け入れる乳児保育、11 時間を超える保育を行う延長保育、障がい児と健常児が共に生活する障がい児保育、育児中のリフレッシュ、冠婚葬祭などで家庭での保育が一時的に困難になったとき、一定期間パートに就いたりする場合などに利用できる一時預かり、日曜日、祝日等を行う休日保育を実施しています。</p> <p>次に、7. 社会福祉法人高砂福祉会の概要でございますが、ホームページによりますと、事業内容は、保育園の設置・運営、認定こども園の設置・運営、放課後児童クラブの設置・運営、送迎保育ステーション委託運営などです。</p> <p>高砂福祉会では、表のとおり、千葉県内では富津市を含め 5 市で保育園 12 箇所、認定こども園 2 箇所、県外では保育園</p>

発言者	発言内容
	<p>11 箇所、認定こども園 2 箇所を運営しています。青堀保育園移管前の平成 17 年においては、保育園が 3 箇所でしたので、規模が拡大しています。</p> <p>続いて、今後の予定についてご説明いたします。</p> <p>資料 3 の「今後の予定」をご覧ください。</p> <p>次回以降、選定委員会では、青堀保育園次期運営者のプロポーザル、事業提案の募集に係る実施要領の検討を予定しております。</p> <p>6 月の第 2 回選定委員会で実施要領（素案）を、8 月の第 3 回選定委員会で実施要領（案）を検討いただき、10 月の第 4 回選定委員会で実施要領案を決定したいと考えております。</p> <p>11 月にはプロポーザル審査委員会を設置し、実施要領を決定します。このプロポーザル審査委員会は、市役所庁内の組織であり、担当職員で構成されるものとなります。</p> <p>また、高砂福祉会とは、園舎等の所有権を令和 5 年 3 月に移転する内容の売買契約を締結したいと考えております。</p> <p>12 月には次期運営者に係るプロポーザルの公表、実施要領の配布、説明会及び現地見学会を行います。</p> <p>令和 4 年 1 月をプロポーザル参加表明等の提出期限とし、提案内容の審査を経て、提案採用者の決定及び公表、第 5 回選定委員会を 2 月に開催する予定であります。</p> <p>4 月には、次期運営者と富津市で基本協定を締結し、12 月に高砂福祉会と次期運営者、富津市の 3 者で引継保育に係る協定書を締結し、令和 5 年 1 月から引継保育を始めます。</p> <p>3 月に高砂福祉会から市へ土地、建物、物品を引渡し、4 月に次期運営者に引き渡しを予定しています。</p> <p>なお、資料の※がついた項目は、プロポーザル審査委員会が事務を行うものとなります。</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>現状では、このような工程で進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上で、説明を終わらせていただきます。</p> <p>事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑等はありませんか。</p>
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>続いて、議題（４）「公立保育所の再配置について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料４「公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ」及び「追加資料」を使用)</p>
事務局 (鈴木課長補佐)	<p>議題４ 公立保育所の再配置についてをご説明いたします。</p> <p>お手元の資料４「公立保育所再配置計画たたき台に対する意見とりまとめ」をご覧ください。</p> <p>これまでの会議で、富津市公立保育所再配置計画たたき台のうち、総論となる「１．公立保育所をめぐる課題」、「２．目指すべき基本方向」と、「３．具体的な再配置（案）」のうち①富津地区に対しまして、委員の皆様からいただいたご意見と市の考え及び回答をまとめたものでございます。</p> <p>１ページをご覧ください。</p> <p>まとめた表は、その項目がたたき台のどこのページ数に標記されているか、その項目と、皆様からいただいたご意見と、市の考え・回答を順に記載しております。</p> <p>また、本日お配りした資料４の追加資料については、とりまとめの６ページ上から４つ目と５つ目にごございます「今後</p>

発言者	発言内容
	<p>の利用者の人数を把握するため、各地区の年齢別の子ども 人数を入れてほしい」、「幼稚園の利用者数を入れてほしい」 とのご意見に対する資料となります。</p> <p>皆様からいただきましたご意見のなかで多くいただきました のは、保育士の確保策についてでございます。市といたし ましては、保育士の確保策について、公立保育所では難しい アプローチであっても、民間事業者では確保策が柔軟に対応 できるものと考え、確保を講じる民間事業者に対しては支援 策を講じることも検討してまいります。</p> <p>このほか、保育士の離職防止等についても取り組んでいき たいと考えております。</p> <p>今後、このたたき台につきましては、皆様からいただいたご 意見を踏まえ、精査してまいります。</p> <p>また、お気づきの点等ございましたら、ご意見として頂戴 できればと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議では、大佐和地区の再配置について議論 をお願いする予定でございますが、前回の会議でこのたたき 台についてご説明した内容について触れさせていただきたい と思います。</p> <p>公立保育所の再配置計画を作成するにあたり、昨年の第1 回会議では「公立保育所の現状と課題」について、第2回会 議では「公立保育所の適正配置に係る基本方針」について議 論していただきました。先の会議を踏まえ、富津市公立保育 所再配置計画たたき台を作成しております。</p> <p>たたき台の1ページをご覧ください。</p> <p>1. 公立保育所をめぐる課題の（1）入所児童数の状況に ついては、入所児童が少人数となっている施設では合同保育</p>

発言者	発言内容
	<p>の実施などによる課題や近年の保育児童の低年齢化等の状況について記載しております。</p> <p>(2) 保育士の確保についてですが、公立保育所だけの問題ではございませんが、保育士として就労する者の減少や離職などの課題の状況について、下の表につきましては少人数の保育所について、保育所を統合した場合を想定した保育士の確保について、保育士必要数から算出した表を記載しております。</p> <p>ここでは、A・B・C各保育所について合計12人の保育士が必要となりますが、集約した場合には必要保育士数が7人になり、5人の保育士が他の保育所に振り分け、または身になる児童への配慮、一時預かりなどへ従事が可能となり、更に充実した保育が行えることが想定される表となります。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>(3) 保育のニーズの多様化と育児力の低下についてですが、社会情勢の変化などによる行政の子育て支援について記載しております。</p> <p>(4) 施設の状況については、公立保育所の現状と今後の改修などの課題を記載しております。</p> <p>(5) 運営費の状況についてですが、公立保育所の運営に係る財源の状況などについて記載しております。</p> <p>3ページをご覧ください。</p> <p>2. 目指すべき基本方向についてですが、発達に適した集団の確保、公立施設の配置の検討、量的・多様化する保育ニーズへの対応に着目し、基本的な方針を記載しております。</p>

発言者	発言内容
	<p>そのうち、「発達に適した集団の確保」についてですが、未満児の需要の拡大、3歳以上児の対応について、私立保育園や幼稚園などの施設も視野入れた公立保育所の統廃合の必要性を記載しております。</p> <p>次の「公立施設の配置の検討」については、私立保育園や幼稚園の施設の位置などを踏まえた公立保育所の配置の検討や、民間活力の活用による保育サービスの拡充などの検討を記載しております。</p> <p>「量的・多様化する保育ニーズへの対応」については、公立・私立保育園や認定こども園の役割や特色など生かし、市全体で対応できるような方向について記載しております。</p> <p>3. 具体的な再配置（案）のうち①富津地区について、前回の会議でご討論いただいたところでございます。</p> <p>それでは、大佐和地区について説明をさせていただきます。</p> <p>「公立保育所再配置計画たたき台」の5ページをご覧ください。</p> <p>②大佐和地区については、就学前児童の受け皿が5施設あり、富津地区からの未満児の受け皿になっている状況がございます。将来人口推計では、児童数の減少が見込まれることから、施設が余剰となることも懸念されます。</p> <p>この地区の公立保育所は、吉野保育所、佐貫保育所となり、「吉野保育所」については、富津地区の受け皿となっている児童もいることから、富津地区の今後の配置の状況によっては保育所の必要性が低くなることも見込まれますが、施設的には民間移管を検討いたします。</p> <p>次に、「佐貫保育所」については、入所児童が減少しており、発達に適した集団での保育が困難になってきていること</p>

発言者	発言内容
	<p>から、3歳以上児を送迎により集約することを検討します。</p> <p>また、未満児については、佐貫地区に小規模保育所を設置して保育を行います。この小規模保育所については、3歳以上児の送迎ステーションも兼ねることから、場所についても既存の佐貫保育所を使うか、今後検討が必要と考えます。</p> <p>次の「民間保育園」については、私立保育園等に今後の運営の意向調査を行ったところ、定員増の希望のある園もありますので、拡充を働きかけます。</p> <p>説明は以上となりますが、この後のグループ討議でご議論をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
諸岡会長	<p>事務局の説明が終わりました。説明に対するご質疑等はありませんか。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>他にないようですので、これよりグループ討議に入りますが、事務局より討議の進め方について説明をお願いします。</p> <p>(資料「公立保育所再配置計画たたき台に係るグループ討議の進め方について」を使用)</p>
事務局 (水島係長)	<p>活発に議論していただき、一つでも多くのご意見を頂戴したいと考え、前回の会議に引き続きグループに分かれ討議をお願いしたいと思います。</p> <p>先ほどご説明した「公立保育所再配置計画たたき台」をもとに、本日は大佐和地区について1時間程度、グループ討議を行っていただきます。</p> <p>市の考えとしてお示しした「たたき台」をご覧いただき、</p>

発言者	発言内容
<p>諸岡会長</p> <p>各委員</p> <p>諸岡会長</p>	<p>「たたき台ではこう示されているけど、こうした方が良いのでは」、「こう示されているけど、これはどういうことだろう、どうしてだろう」というようなお考えや疑問点などを出し合っていただければと思います。</p> <p>このグループ討議では、多くの意見を出し合っていただくことが目的ですので、グループで結論を出す必要はありません。ざっくばらんに話しあっていただき、1つでも多く意見を出し合っていただきたいと思います。</p> <p>グループ討議終了後は、それぞれのグループで出した意見等を会議全体で共有するために、議論した内容をグループ毎に報告（発表）していただきますので、あらかじめグループ内で報告者を決めていただくようお願いします。</p> <p>各グループに1枚ずつ討議で出した意見や質疑を取りまとめるためのワークシートを1枚ずつお配りしております。報告者は、討議終了後報告しやすいように、このワークシートに討議で出した意見等を記入してください。なお、ワークシートは本日の会議終了後、事務局へ提出をお願いします。</p> <p>本日のグループ討議で出された意見や質疑等については、事務局で取りまとめ、次回の会議で市の考えとともに報告させていただきます。以上で説明を終わります。</p> <p>事務局の説明が終わりました。討議の前に確認しておきたいことなどありましたらお願いします。</p> <p>(質疑等なし)</p> <p>それでは、グループでの討議に移りますので、活発な議論をお願いします。</p> <p>(会長、副会長は討議グループの席へ移動)</p>

発言者	発言内容
事務局 (荒木主任主事)	<p>事務局よりご連絡いたします。</p> <p>3時15分(1時間経過後の時間)になりましたら声をかけさせていただきますので、それまでの間、グループ討議をよろしく願いいたします。</p> <p>なお、討議の途中で、疑問や確認したいことが生じた場合は事務局にお尋ねください。それでは開始してください。</p> <p>(グループごとに討議)</p> <p>(1時間経過後)</p>
事務局 (荒木主任主事)	<p>ちょうど1時間経過しましたので、ここで会議を一時中断し、5分ほど休憩をとりたいと思います。3時20分から開始しますので、それまでに御席にお戻りください。よろしく願いいたします。</p> <p>(5分間休憩)</p> <p>(※会長、副会長はひな壇へ移動)</p>
諸岡会長 (Aグループ代表) 古川委員	<p>皆さんお揃いのようなので、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。先ほど討議していただいた内容をグループごとに報告していただきます。</p> <p>それでは、Aグループから報告をお願いします。</p> <p>前回配付されました「富津市公立保育所再配置計画たたき台」に示されました再配置のイメージと取り組みの目安、この計画どおり進んだ場合にどのような課題があるのか、あるいは問題が生じるのかということを中心に話し合いをいたしました。ただし、具体的あるいは建設的な意見として集約す</p>

発言者	発言内容
	<p>することはできませんでしたが、ここで出された意見を報告させていただきます。</p> <p>佐貫保育所を 19 名定員の小規模保育所として移管する計画だというふうに記載されてございましたけれども、例えば、施設の継続使用をするのか。継続使用をしたとすれば、かなりの余分なスペースが出てくる可能性がある。スペースの有効活用について具体的な案があるのかどうかということについて 1 点ありました。</p> <p>それから、3 歳未満児について、「富津地区の受入枠の拡大に出たような稼働が見込める」と前回のたたき台の中にそのような方向がございました。現在、既存保育園の 3 歳未満児の受入枠の拡大を働きかけてとありましたけれども、実際にどのような状況で進捗しているのか。</p> <p>小規模保育所に関してですが、預かり保育の保育時間をどのくらいの時間で考えているのか。</p> <p>園児を送迎する際に、近隣道路の整備状況であるとか、送迎用の保護者駐車場スペースの確保であるとか、やはりそういうことも課題ではないかというような意見が出ました。</p> <p>簡単ではございますが、以上でございます。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。A グループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑がありましたらお願いします。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、B グループの報告者の方よろしく申し上げます。</p>

発言者	発言内容
(Bグループ代表) 保坂委員	<p>色々な意見が出ましたが、保育所再配置にいずれはなるのかなというのを感じている部分もあるそうです。</p> <p>理想としては1つの園でずっと育てていくことが大事かなと思うのですが現状もよく分かる。大佐和地区で考えると地域性で、例えば佐貫と吉野保育所の統合というのも1つあるのではないかな。公立は公立のままでよいところもあるのではないかなという意見も出ました。または、逆に民間を入れることによって特色を出して生き残りをかけてやっていただけるのかなというさまざまな角度の意見が出ました。</p> <p>それから、子どもたちを集団の中で育てていくことが大事なことなので、一緒になるというのは良い方向で小学校への教育へつながっていくのではないかなという意見が出ました。</p> <p>公立でも民間でもどちらでも預ける保護者側からしたら、富津市の幼児教育の指針というかこのような考えのもと、富津市はこのように子育てします！というのを、公立と民間でやっていけばいいのではないかなという考えも出ました。</p> <p>昔は、地域にあまり保育園や幼稚園はなかったが、今は選んで入る時代でもあるので、ビジョンとして示していただいて、保護者がそれを選択して入れるようなものがあったもいいのではないかなという意見が出ました。以上です。</p>
諸岡会長	<p>ありがとうございました。Bグループからの討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑等ありませんか。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、Cグループの報告者の方よろしく申し上げます。</p>
(Cグループ代表)	<p>先ほど事務局から話のありました公立保育所再配置計画の</p>

発言者	発言内容
都倉委員	<p>たたき台に対する意見ということで、まずはそれぞれ委員から事務局に対してどういう意見があるのかというのを、個別に意見を聞いた状況です。それでは説明いたします。</p> <p>佐貫地区の3歳未満児の受け皿として、必ず小規模園は必要なのではないかという話がありました。</p> <p>送迎ステーションとしての機能をもう少し明確にしてほしいという意見もございました。</p> <p>3歳未満児から4歳児になったときに、希望の園に行けるのか不安だという意見もありました。また、兄弟がいる場合で3歳未満児は小規模へ、3歳児以降はまた違う場所に預けるというケースが出た場合、保護者としてはなかなか対応の難しい面もあるので、そういった場合は特別な配慮といえますか、なんらかの対応があってもいいのではないかという話がありました。</p> <p>送迎バスを使用する場合の安全面の確保をしっかりと対応してもらいたいということ。また、大佐和地区4施設が3歳以上児の受入れ先としてあるわけですがけれども、それぞれの送迎バスが寄るステーションがばらついていたりしますと、保護者の対応が分かれた場合に難しいというケースもあるのではないかという話がありました。</p> <p>保育所は地元密着のものなので、佐貫地区に関してはそのまま現状維持でもいいのではないかという話もありました。</p> <p>吉野保育所が民間移行した場合に、50名定員では経営が難しいのではないかということから、民間参入は難しいという意見が出ました。</p> <p>青堀保育園の新しい事業者が決まった場合、現在の定員90名から増員された場合に、吉野保育所のあり方というのはそこでまた考え方として改めて検討すべきではないかという話がありました。出ました意見は以上です。</p>

発言者	発言内容
諸岡会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>Cグループから討議の結果が報告されました。報告に対するご質疑はありますでしょうか。</p>
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>それでは、これより全体会議とします。今までの報告やその他なにか質疑がありましたら、挙手をお願いします。</p>
黒木委員	<p>保育士の確保が非常に難しい状況でございまして、青堀保育園の撤退もそうだと思うのですが、その確保対策というところで市として公立、民間に限らず、研修などサポート体制というのを大きくビジョンで打ち出していただけないかなと思っております。</p>
諸岡会長	<p>いまのご意見について、事務局なにかありませんか。</p>
事務局 (鈴木課長補佐)	<p>先ほど、たたき台のご説明の中でも触れさせていただいたのですが、公立のみならず民間の保育園、事業者のお力をお借りしながら支援策を検討してまいりたいと思っております。</p>
諸岡会長	<p>他になにかご質疑ありませんか。全体的なことでもよろしいのですがありませんでしょうか。</p>
各委員	(質疑等なし)
諸岡会長	<p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題（５）「令和３年度会議スケジュールについて」を議</p>

発言者	発言内容
事務局 (水島係長)	<p>題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>(資料5「令和3年度富津市子ども・子育て会議スケジュール(予定)」を使用)</p> <p>令和3年度の子ども・子育て会議の予定についてご説明いたします。</p> <p>資料5「令和3年度富津市子ども・子育て会議スケジュール(予定)」をご覧ください。</p> <p>今年度は、本日を合わせて5回の会議を予定しております。</p> <p>次回、第2回会議は7月21日に、公立保育所の再配置のうち天羽地区についてを、第3回は、8月下旬から9月上旬頃に再配置計画の全体についてを本日同様グループに分かれて討議いただく予定です。</p> <p>第4回は、11月頃に公立保育所再配置計画(案)に対するパブリックコメントの実施についてをご審議頂き、第5回は令和4年2月頃に、パブリックコメントの結果報告に併せ計画(案)の承認をいただき、令和4年3月に公立保育所再配置計画を決定したいと考えております。</p> <p>これは、あくまで予定としてお示しし、今後議論を進めていく中で、必要に応じ見直しを行っていきたいと考えております。</p>
諸岡会長	<p>事務局の説明が終わりました。ご質疑がありましたらお願いいたします。</p>
各委員	<p>(質疑等なし)</p>
諸岡会長	<p>それでは、議題(6)「その他」に入ります。委員の皆様</p>

発言者	発言内容
各委員	<p>からなにかありますでしょうか。本日、これまでの内容で確認したいことなどありましたら挙手をお願いします。</p> <p>(挙手なし)</p>
諸岡会長	<p>よろしいでしょうか。ないようでしたら、事務局からその他として何かありましたらお願いします。</p>
事務局 (水島係長)	<p>それでは、次回の会議についてご連絡いたします。</p> <p>次回の会議は、7月21日を予定しております。公立保育所の再配置計画決定に向けて、本日と同様に3グループに分かれて天羽地区の討議を行っていただきます。会議開催については、後日郵送等でご案内させていただきます。</p> <p>事前に送付いたしました「たたき台に対する意見書」は会議終了後に提出をお願いいたします。</p> <p>なお、本日の議題に関することや前回討議いただいた富津地区の再配置に関する事など、今後も随時意見はお寄せいただきたいと考えております。本日あらためてお手元に意見書の用紙をお配りしましたので、そちらをお使いいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
諸岡会長	<p><次第5 閉会></p> <p>それでは、以上をもちまして、令和3年度第1回富津市子ども・子育て会議を閉会といたします。</p> <p>委員の皆様には長時間にわたりましてありがとうございました。</p>